

令和4年度第1回 西九州させぼ広域都市圏協議会での意見取りまとめ

	事業名等	発言者	意見内容	回答内容	対応状況等	対応・検討時期
1	名切地区再整備 俵ヶ浦半島開発	松浦市長	・連携市町の住民に認識されておらず、PR等を行う必要がある。	・連携市町の住民にPRすることが課題であり、その点について工夫をしたい。	・西九州させぼ広域都市圏ポータルサイト内で案内情報を公開する等、連携市町の方にも利用いただけるようPRを行う。 ・データ等の提供を行い、各市町の広報誌に案内情報等を掲載いただけないか担当課長会において依頼する。	令和4年度～
2	ポートセールスの推進	・伊万里市長 ・佐世保市長	・連携事業としての妥当性、連携市町に対するPR等を喚起する必要がある。 ・伊万里港のコンテナ取扱量等の情報を各市町に情報提供すること。	・伊万里市と相談をしながら、情報提供の方法について検討したい。	【伊万里市】 ・伊万里港の情報については、「佐賀県伊万里港振興会HP」にて随時情報発信を行っているため、広域市町にも情報が行き渡るように工夫していきたい。 ・広域連携市町の企業立地部局へ伊万里港の利用促進の協力を仰ぐなど、機会を捉えて情報交換を行っていきたい。	随時
3	中間評価手法	佐世保市長	・連携事業の評価手法について、定性的な評価だけでなく、実績等での評価を行うべきではないか。		・次期ビジョンの策定にあたり、役割、施策だけでなく、事業についてもKPIを設定する等、定量的な評価ができるよう検討を行う。	令和5年度～
4	人事交流制度による職員のスキルアップ・意識醸成	西海市長	・人事交流の制度構築は進んでいるのか。検討が進んでいないようであれば、ぜひ早く取り掛かっていただきたい。	・担当課からは制度構築案まではできていないと聞いている。 ・ご意見については、担当部局に伝える。	・本市を含め、新型コロナウイルス感染症対応などで各市町が人的余裕がない状況であり、制度の構築等検討課題が多くあるため、現状として、実施に関し連携市町と今後事業を実施すべきか、実施するならば、どのような制度にすれば全連携市町にとってより効果的であるのか、もしくは中止すべきかを検討を行いたい、各市との協議実施の場の設定等に苦慮している状況。	令和4年度中に各市に意見を伺うよう対応したい。

令和4年度第1回 西九州させぼ広域都市圏協議会での意見取りまとめ

	事業名等	発言者	意見内容	回答内容	対応状況等	対応・検討時期
5	その他	松浦市長	<p>・松浦市で実施している中学生が地元の企業を訪問するバスツアーを広域圏の取組として実施したい。</p>		<p>・現在、各市町で取り組んでいる中学生の企業訪問について、連携事業として実施可能かR5年度の第2期ビジョン策定時に検討を行う。</p> <p>※現在の実施状況 【松浦市】 【令和4年度 実施状況】 ・時期：令和4年6月～11月 ・実施校：5校 ・参加人数：205人 ・目的：中学生の市内企業への理解を深めるとともに進学及び将来の就職選択の一助とする。 ・主催：松浦市工業会（事務局：地域経済活性課） ・方法：市内中学2年生を対象に2～3社の企業（工業会会員企業）を訪問。企業の概要説明、工場見学、質疑等を実施。バスの手配、受入企業の調整は事務局で実施。 【佐世保市】 ・次期ビジョンの策定時に連携事業として取組可能か検討を行う。 ・本市の類似の取組として、市内ものづくり企業の団体である佐世保工業会において、工業高校等の学生を対象とした企業見学会（見学バスツアー）を実施しており、こうした人材確保の取組や、会員企業の社員研修など人材育成の取組に係る経費の一部に対して補助を行っている。（戦略産業人材育成・確保支援事業補助金）</p>	令和5年度～
6	広域圏サポーター創出	松浦市長	<p>・広域都市圏の素晴らしさをより感じる方々に呼びかけていく手法も考えなければならない。福岡圏域よりも首都圏等の人たちに売り込むことが効果的ではないか。</p>	<p>・福岡圏域へのルートができつつある部分について、広報していきながら、首都圏、関西を含めた複合的な広報に繋げていきたい。</p>	<p>4年度【福岡圏域】 11月25日福岡圏域住民（45,000人）に対して、マーケティングメールにて、オンライン相談会・ワーケーションツアー・長崎県Uターンキャンペーンの広報を実施 4年度【首都圏・関西圏・全国】 全国的に人気のある移住系雑誌「TURNS」の令和5年2月号において、広域圏周遊型ワーケーションツアーの広報（特集記事）を実施する予定。 ※5年度以降も同様に両輪で広報展開を企画する。</p>	令和4年度～

令和4年度第1回 西九州させぼ広域都市圏協議会での意見取りまとめ

	事業名等	発言者	意見内容	回答内容	対応状況等	対応・検討時期
7	広域圏サポーター創出	伊万里市長	・企業紹介の取組について、農業・漁業等の一次産業、少し広げた形で取り組んでもよいのではないか。	・一次産業への相談受付も検討したい。	令和5年度以降【オンライン相談会における対応】 就農・就漁相談希望者の受付を実施する方向で広域圏担当者会議で検討を進める。 ※令和5年度における伊万里市の広域圏サポーター創出事業への参画を働きかける。	令和5年度～
8	広域圏サポーター創出	西海市長ほか	・広域圏の移住定住の取組として、農業もできる、漁業もできるという形で紹介できればと思う。	・農業だけでなく、漁業についてのコンテンツ等の検討を行いたい。 ・従事希望者が連携市町のどこで農業等ができるということがわかるコンテンツ作りを検討したい。連携市町の皆様にはメニュー作りをお願いしたい。 ・企業紹介サイトの中で、UIターンして農業をしている方等を紹介する取組を検討していきたい。	令和6年度以降【特設移住サイトを活用した広報強化】 広域圏担当者会議にて、広域市町各エリアの農業・漁業の特徴や従事希望者への支援など、マップ機能を活用してお知らせする機能拡充を検討する。 あわせて、成功者事例もインタビュー等を交え、広報を検討する。 ※別途経費が発生することが見込まれることから、広域圏担当者会議にて検討を実施する。	令和6年度以降～
9	IR誘致	有田町長	・区域認定を受けられた際は、首長、行政だけではなく商工会議所等を含めた会議を開いてもらいたい。官民含めてやっていければ効果も大きくなると思う。	・区域認定を受けることができれば、そのような枠組みもできるような形で進めていきたい。	・まずは佐世保商工会議所事務局と西九州させぼ広域都市圏協議会での意見について情報共有（下話）を行う。 ・国からの区域認定後、圏域の官民連携施策・枠組みについて検討を行う。	区域認定後 (認定時期未定)
10	会議の開催等	・松浦市長 ・佐世保市長	・第2期ビジョンの策定時には、各市町の議長に参加いただく会議の開催を検討してもらいたい。 ・首長のみならず、各市町の議長も参加する会議を年1回程度開催してもよいのではないか。	・会議の構成や時期等について、各市町にも相談しながら検討したい。	・次回の担当課長会(R5.2開催予定)において各市町に相談(提案)し、令和5年度中に各市町の議長にご参加いただく会議の開催を検討する。	令和5年度～